

## ■トロック10 夜のお相手 ウツギver

//BGM 夜の海辺の波の音

//SE リズミカル扉を叩く音

//ウツギ 正面遠くで話します

//ドア越しの編集

//緊張している

「し 失礼致します お客様？  
ウツギです」

「は…入ってもよろしいでしょうか？」

「は はい…  
で…では…」

//SE 扉を開ける音

//SE 部屋に入る足音

//ウツギ 部屋に入るため

正面少し近く 移動しながら話します

「失礼…いたします(移動する)」

//SE 扉を閉める音

「ふう…ん…はあ…  
あ…あの…お客様」

//SE 頭を下げる布音

「今晩は…夜のお相手に  
ウ ウツギをお呼び頂き  
誠にありがとうございます(頭を下げる)」

//SE 頭を上げる布音

「んふあ(頭を上げる)…  
ウツギが…せ 精一杯  
ゞ奉仕させていただきますね」

//SE ゆっくり近寄つてくる足音

//ウツギ 正面近くへ  
移動しながら話します

「では…お客様？」

「どうぞ…そのままベッドに寝て頂いて…」

//SE 男性がベッドへ寝る布音

//ウツギ 男性が寝るため離れるので  
左側遠くへ移動しながら小声で囁きます

「はい…ありがとうございます

…はい それで 大丈夫ですよ」

/SE 男性の隣ベッド 〈移動する際の  
布音

//ウツギ 左側近く 〈移動しながら  
声を出さずに囁きます

「では…お隣…失礼いたします  
んつ…と(移動する)」

//SE ウツギが左側でもぞづく布音

//ウツギ 左側近くで声を出さずに囁き  
ます

「んはあ…ん んう…  
き 緊張…し します」

「んつ…んう… で ではお客様?  
その…早速ですが  
…な…なさいますか?」

「は…は はい… え…と」

「その…お客様…?  
まずは…なにから…」

//SE ばつと抱きつく布音

//ウツギ 抱き付かれキスされるため  
正面近く 〈移動しながら声を出さず  
に囁きます

「ひう…?(抱きつかれる) あ…んう  
はあ…お客様? んつ(キスされる)」

//SE キスしている最中のもぞつく布音

//キス

「ん んー… ちゅ ちゅ ちゅ…ぶ  
んう んう んちゅ…じゅる  
んう んちゅ ちゅる…じゅる」

「あろお…れお れおれおれお…んちゅ  
じゅる んちゅる ぐちゅ わちゅる  
んぐちゅ ちゅふ…んぐんぐう…じゅる  
る んちゅ…ぱあ…」

//SE キスの状態から離れる布音

//ウツギ キスの状態から離れるため  
正面少し近くへ移動しながら声を  
出さずに囁きます

「はあ…はあ…ふはあ…  
え へえ…お客様 いきなり…  
ちゅー…しゃいましたね…」

「ん…はあ…はあ…お客様…?  
もう一度…キスを…」

//SE ゆづくりと抱きつく布音

//ウツギ 抱き付かれキスされるため  
正面近くへ移動しながら声を出さず  
に囁きます

「はあ…む んちゅ  
ちゅ ん…んう」

「ちゅ お客様…んちゅ ちゅる  
もつほ…ぐらさい…」

「んはあ…はあ…お客様あ…好き…  
んちゅ ちゅ じゅる ん ちゅ ちゅ」

「最初…あつたときから…好きです  
はあむ んちゅ じゅ んちゅ じゅる」  
「んはあ…はあ…はあ…えへへ…  
好きですよ…お客様」

「はあむ んちゅ じゅる  
んんつ ん…ちゅふ…ん」

「お客様の唇…男らしくて…んちゅ ちゅ  
じゅる…好き…です…んちゅ」

「お客様も…ウツギの…ん ちゅ  
柔らかい唇…好き…ですか？」

「んつ…んちゅ じゅる

ちゅ にちゅ ちゅ

ちゅ ふ…んふ うれし…です」

「はあ…はあ…お客様…舌…舌…

からめて…んちゅ

れお…れおお…れお…んちゅ ちゅ

じゅる…んちゅ じゅる ちゅぱ…」

「はあ…はあ…お客様…あ…

はあ…はあ…好き…」

「はあむ…んちゅ

れお…れおん…にちゅ

れお…ちゅ じゅる…んちゅ

れお…れお…んちゅ

ちゅ ちゅ ちゅ れお…

んう ちゅ ぱ」

//SE キスの状態から離れる布音

//ウツギ キスの状態から離れるため

正面少し近くへ移動しながら声を

出さずに囁きます

「んはあ…はあ…はあ…

頭…くらくら…します

お客様も…ですか？」

//SE ウツギが正面近くから抱きつき  
左耳元へ移動する布音

//ウツギ 左耳元へ移動しながら  
声を出さずに囁きます

//もつとクラクラさせちゃいますね  
を強調

「はあ…はあ…じや…あ  
い」にも…キス…して  
もつとクラクラさせちゃいますね？」

//耳舐め

「はあむ…はむ はむ にゆる ん  
はあむ れお れお…  
はあむ んにゆる はむ… んじゅ  
んつ ああむ」

「ん…ふう お耳…きもちいいですか」

「はあむ んちゅ はあむ  
にゆる にゆる  
れおれお…んちゅ じゅる  
んつ じゅる んちゅ」

「れ…ろろろろろろ…んちゅるうう  
ちゅーーー…ぽ  
んぐちゅるる… んちゅ  
じゅる ぐちゅる…んぐふんぐふ  
んぐふ…じゅるる ちゅぽ」

「ん…くらくら…しちやいます？」

んふう お客様…口が…開いてますよ？」

「それに…目もとろんとしていて

かわい…です

はあ む んちゅ はむ

にゅる ちゅ れお…

んちゅ ジゅる…れお れお…」

「んつ ふう…もつと…奥…まで…

はあむ…んちゅ れお…れお…

んちゅ ジゅるる れおれおれお…」

//SE 抱きつきながら右耳元へ移動する

布音

//ウツギ 右耳元へ移動しながら  
声を出さずに囁きます

「んはあ…お客様…ん…しょ…」

「こつち…反対側も…気持ち いくしますね」

//耳舐め

「いきますよ？ はあむ んちゅ

はむ れお…れお んちゅ れおれおれ

おれ…

んちゅ ジゅるる ジゅるるる…

んぐふう…んちゅ

はむ…んつ んちゅ… ジゅるる んつ

「んはあ… 舐めるたびに…びくん

ぴくんつて お客様 可愛いです」

「そんな姿見せられると…ウ ウツギも  
興奮してしまいますよお…」

「はあむ んちゅ んう ちゅ ふ  
んつ んつ れお…れおれお はむ ち  
ゅー…ちゅ  
んはあ れおれおれおれお お客はまあ  
…ん んちゅ」

「んはあ…はあ…好き  
お客様…大好きです…」

「ん…好き…好き…んちゅ  
お客様…んちゅ じゅる  
んつ ふつ はあ 好き つ…んちゅ…ぽ」

//SE 抱きつきながら左耳元 へ移動する  
布音

//ウツギ左耳元 へ移動しながら  
声を出さずに囁きます

「あ…んふう…お お客様?  
…おちんちん

立つちやつてますよ?」

「ウツギにちゅーちゅーべろべろされて…  
興奮しちゃいましたか?」

「んうはあ…す ご…い 嬉しいです  
ウツギ…お客様の事…大好きですから…  
こんなに興奮してもらえるの…嬉しい…」

「お客様…おちんちん…  
触つ…ちやいますね」

//SE ペニスを優しく握る粘液音

「んう…ん…んはあ  
す すごい…かちかち…です  
それに…我慢汁も少し…あふれています」

「はあ…お客様 こんなに勃起出来て…  
かっこいい…ですよ」

「」の勃起おちんちん  
シコシコしてもいいですか？」

「は はい…では 失礼して…  
シコシコさせていただきますね」

//SE セリフに合わせ手こきする粘液音

「んつ んう はあ はあ 硬い…  
ん…んう どくどく…脈 打つて…  
ウツ ギ…お客様のんつ ふう  
お おちん ちん…触つて るの 好き  
…好き です…」

「お客様？ お客様 も…んつ  
ふつ どうぞ…ウツギ の 事…  
んつ ふう  
触つて…ください…ませ」

「んつ んうあ

あ…あんああ…んう ふつ ふつ

乳首…はあ はあ くり…くり…んう」

「はあ はあんつダメ じやないです

気持ちいいです…

お客 様…の…手…すう…い  
きもちいです…」

「んつ んう ふつ お客様…ああつ  
好きつ おっぱい いじつて くれるの  
大好き…んつ はつ 好き 好きつ」

「はあ…はあ…

お客様…我慢 汗 はあ はあ

先つ ちよから

んつ んふつ んう す すごい

出ちやつて ます…」

「んつ ふつ んう

ぐちゅ ぐちゅ…つて

えつちな 音…

聞こえ ちやつて…」

「んく はあ はあ ふう

こ こんな えつちな音

聞かされたら…

はあ はあ んう ウウツギ

が 我慢 できない ですよ…」

//ちくび・手ノき音停止

「んふあ お客様？ はあ はあ  
舐めてい？ です？ はあ はあ  
おちんちん 舐めていいですか？」

「んう はつ はい  
やつた…はあ はあ う 嬉しい  
嬉しいです…」

「じや…じやあ…  
し 失礼しますね」

//SE 抱きついている状態からフエラの  
位置 〈移動する布音

//ウツギ フエラの位置 〈移動しながら  
小声で囁きます

「んつ…しょ…(移動する)」

//興奮している

「んつ はつ！ はつ！  
す すごいっ！ すごいですっ…  
お客様の…こんなに おつきく…  
はあ はあ」

「そ それじゃ…お客様  
舐めつ 舐めますね？」

//SE フエラするため頭を寄せる布音

「はあ はあ 頂きまあ…ふ んちゅ  
れー…れお れお  
はああ…む んちゅ ちゅ  
んつ んぐつ んう んう  
ちゅつ じゅるるる じゅるるるるる！」

「んつ じゅる れお  
じゅぽ じゅぽ じゅふ  
んはあ はあ…おいひ…おいひ…んふう  
お客様はまの おいひ…んう  
はあむ んちゅ じゅるる じゅるる」

「んはあ はむはむ れお…れー…れー…  
はあむ じゅふ じゅふ  
じゅふ じゅふ  
んぐつ んぐ んつ…んつ！」

「ふはあ…はあ はあ

お客様はまあ…れおれおれおれおれお

きもひ いいれすか?

れおれおれおれお…」

「んはあ はあ お客様のおちんちん

すつご いおいしいです

はむ この…んちゅ

先つちよ…から…

どんどん我慢汁が

あふれて来ていて…」

「(ア)…んちゅ じゅるう

ちゅ んちゅ

おいひ…じゅちゅる

ちゅ ぽあ…」

「はあ…はあ 裏筋も…はむ

んちゅ れおれおれおれ…

んはあ お客様…好き…はああむ

んちゅ ちゅ ちゅふ すきい…」

「はむ んちゅ じゅ ふ

じゅふ じゅふ じゅふ

んつ んつ 奥…奥まで…

はあむ んぐう…入れて…のどまで…」

「んぐっ んぐ ぐふ ぐふ ぐふ  
ぐふ ぐふ ぐふ ぐふ ぐふ  
んつ ぐ ぐふ ぐふ ぐふ」

「つはあ！ はあ！ はあ！  
はあ… はあ…  
ごほつ ごほつ はあ はあ…  
えへ…えへ…お客様？  
ウツギのお口まんこ…  
気持ち…いいですか？」

「はい…えへへへ…

ウツギのお口はお客様専用ですか？」

「はああむ ちゅ じゅる ん いっはい  
んちゅ じゅるる ちゅ ぼ  
気持ちよく はむ  
んつちゅ じゅる んはあ  
らつてくらさいね」

「はむ んちゅ じゅる じゅる  
んつ おちんちん  
さつきより ふくらんへ…  
んちゅ ちゅ じゅるる」

「んふう…出したく…なつたら  
いつでも 出して頂いていいですよ？」

「ウツギの お口 んぐ  
ちゅ んじゅる ぐちゅ  
ろろろろろろ…んはあ  
お客様の特濃ザーメンで  
いっぽいに あむう… んちゅ  
じゅる んつ ひでくらさいませ」

「はむ…んぐつ んつ んつ  
じゅるる じゅる  
んつ んぐつ んつ んちゅ じゅる」

「喉の…奥も… ふかって…んうんぐ  
んぐつ ぐぶぐ。ぶぐぶ… んぐ ぶぶつ  
んぐうう ぐぶぐ。ぶぐぶ ぐちゅる  
じゅるるるるる」

「んんはあ んんつ? もう らめ?  
イク? んつ んちゅ じゅる  
いいれすよ  
んちゅ んぐ んぐ んぐ んぐ んぐ」

「らひて…らひてくらせい  
んつ んつ んつ んぐ んぐ んぐ  
んぐ んぐつ!」

//SE 射精音

//SE 口から精液が零れる粘液音

「んんんつ!?」

//SE 弱い射精音

//SE 口から精液が零れる粘液音

んぐんん～！

SE // 弱い射精音

//SE 口から精液が零れる粘液音

んぐっ！？

ん……んふ……んう」

精液を口に含みながら話す

（口の中で精液をこねる）

んふあ……ふごーい……量……れす……」

口を開けて見せる

「んふう……んべえ———あ……ほら……  
お客様 はま?  
みえまふは?」

「（）んら…ひ…あ

…んぐあ はあ はあ く はあ…はあ」

「んふう…はあむ…

ぐちゅぐちゅぐちゅ…

（口の中で精液をこねる）

「（）へ…（）へん…（）へ

んんつ…ぱう…

はあ…はあ…はあ…はあ はあー…」

「え へ…お客様 あ

全部…飲んじやいました」

// 口を開けて舌を見せる

「（）えあー…

ほら あー ほら…」

「ん…え へ…

飲んじやいましたよ

お客様の えつちなの…」

「あはあ…濃厚で…はあ はあ  
す（づ）いおいしかった…です

// 指についていた精液を舐める

「はむ…ちゅ んはあ…」

//SE フエラの位置から抱きつき  
左耳元へ移動する際の布音

//ウツギ 左耳元へ移動しながら  
声を出さずに囁きます

「んつ…んう…んつ…と…(移動する)」

「えへえ…お客様?  
いっぽい精液出してくれて  
ありがとうございます」

//SE 抱きつく布音

「んふう…ぎゅー…う…(抱きつく)  
んくう だ 大好きですよ お客様…」

//SE 頭を擦り付ける布音

//ウツギ 頭をなすって来るため  
左耳元で左右へ移動しながら声を  
出さずに囁きます

「んつ んつ んう(頭を擦り付ける  
はあ…すきい はあ…お客様」

//SE 頭を擦り付ける布音

//ウツギ 頭をなすつて来るため  
左耳元で左右へ移動しながら声を  
出さずに囁きます

//頭をなすつてくる

「んー んう…(頭を擦り付ける)  
好き…好き い…大好きです」

//ウツギ 左耳元で

声を出さずに囁きます

「はあ…はあ はつ はつ  
お客様…はつ はつ…」

//SE 股を触らせる布音

//SE 股を触らせる粘液音

「お客様あ？ ハハお…触つてください…」

「んう ハ…ハ…お…

んつ ウツギのおまんこお

「触つて…触つ…てつ…」

//SE 股をゆくぐりとくする粘液音

「んつあ！ あ あ んつ んつくう  
ん…はあ…はつ はつ はつあ…  
どう ですか？」

「お客様 あ…ウツギの…え つちなの…

え つちおまんこ…

もう こんなに

とろとろにな つちや つてます

お客様の…ほしくて…

たまらなくなつて…る」

「お客様 ほし…ほしいです

お客様の勃起おちんちん

今度はウツギのおまんこに…入れてえ?

入れてほし…」

「はあ はあ…

お客様…お おちんちん…

入れて…いいですか?」

「入れたい…入れたい…です

お客様の おちんちん…

ウツギのえ つちなおまんこに…

じゅ じゅふじゅふ…したいです」

「はあ…はあ

お客様…お客様あ…」

「んえ? んはあ ほ 本当ですか?

はあ はあ! え へへ…嬉しい…

はい じや…次は…

ウツギと本気の生え つち…

しちやいましようか?」

「んふう は はい!

お客様：好き：好きですよ？

えへえ…」

// フエードアウト